



総研大ニューズレター

第27号 2010.8 発行

●目次

【今月のトピックス】	「高エネルギー加速器科学研究科オープンキャンパス・大学院説明会開催 高エネルギー加速器科学研究科」
	「国立民族学博物館 国際研究フォーラム開催 国立民族学博物館」
	「宇宙科学専攻『夏の体験入学』研究紹介講義開催 宇宙科学専攻」
	「サイエンスカフェ『素粒子の対称性とその破れ』開催 総務課」
	「日本歴史研究専攻・第9回大学院講演会「資料で酒を味わう」開催 日本歴史研究専攻」
	「統計科学専攻大学院説明会実施 統計科学専攻」

【各種募集】

【イベント情報】

主なイベント予定
8月23日～27日 核融合科学専攻 夏の体験入学
8月24日 JSPSサマー・プログラム報告会
8月初旬～31日（第1期）、8月中旬～9月15日（第2期） 国立天文台 サマースチューデント（夏の体験入学）
9月25日 日本歴史研究専攻 大学院説明会
9月28日 統計科学専攻 学生研究発表会
9月30日 学位記授与式
10月7日 入学式

【今月のトピックス】

● 高エネルギー加速器科学研究科

オープンキャンパス・大学院説明会を開催

梅雨の季節ではありますが、幸いにも晴天に恵まれた7月8日（木）にKEKに設置されている総合研究大学院大学高エネルギー加速器科学研究科のオープンキャンパス・大学院説明会第3回（つくば）が開催され、全国の大学などから研究者を目指す20人が参加しました。



午前中は研究科紹介の後、加速器科学専攻、物質構造科学専攻、素粒子原子核専攻から各2名の講師による各専攻の案内・研究内容等についての説明及び関連資料（募集要項を含む）の配布を行いました。

午後からは、各専攻・各研究グループごとにブースを設け、担当教員及び総研大在学生により詳細な研究内容の紹介が行われ、参加者は各ブースにおいて熱心に説明に聞き入っていました。

なお、素粒子原子核専攻理論部門からのお茶・お菓子の提供があり、リラックスした場面も見受けられました。

その後、KEKの施設見学が行われ、先輩研究者が実際に日々携わっている KEKB、BELLE 測定器、放射光実験施設、先端加速器試験施設などKEKにしか存在しない各実験施設のすばらしさを実感していただけたようです。

最後に、希望する専攻毎に分かれ入試や研究環境、生活面での個別相談会が行われ、活発な質疑応答が行われました。

オープンキャンパス・大学院説明会の全日程が終了すると、充実感に満ちた表情が会場に広がりました。参加者同士、連絡先を交換したり、感想など語り合う様子もありました。

今回の参加者の中から、一人でも多くの方が、やがて次のKEK及び総研大を支えてくれることを願いたいと思います。



【文責 高エネルギー加速器科学研究科長 齊藤芳男】

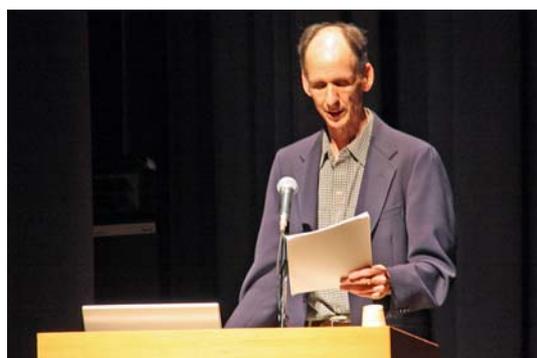
● 国立民族学博物館 国際研究フォーラムを開催

～ジェイムズ・クリフォード教授の講演『文化遺産の返還とその再生』～

カリフォルニア大学サンタ・バーバラ校特別功労教授で文化人類学者のジェイムズ・クリフォード氏が初来日し、6月26日（土）に国立民族学博物館において「文化遺産の返還とその再生—アラスカ州コディアク島の仮面をめぐる」と題する講演をおこないました。彼は1980年代から今日にいたるまで、諸民族の文化をめぐる概念や方法について鋭い批判を展開してきました。

いわゆる「ポストモダン人類学」の論客としてつとに高名な論客であります。とくに『文化を書く』（ジョージ・マーカスとの共編、原著は1986年）において、民族誌を書く行為には、植民地主義的な状況下での植民者側の権威に連なる問題群があることを鋭く指摘しました。

近年、民族資料の収集や展示にも同様な事情がかかわっています。講演では1871年



講演するクリフォード教授

にアルフォンセ・ピナーがアラスカ州コディアク島からフランスに持ち帰ったアルティーク(民族名)の仮面が、フランスの地方博物館からコディアク島の博物館に一時的に里帰りしたことをとりあげました。この博物館は先住民によって運営され、仮面コレクションを活用してさまざまなプログラムを実践しています。そして「返還」された文化遺産に待ち受けていた「第二の人生」は多様性に富んだものでした。

所有者と非所有者、あるいは支配者と被支配者といった関係ではない形で、フランスの博物館とアルティーク博物館とが仮面の展示会を共催し、アルティークのアーティストがそれをあらたな仮面制作に活用しました。こうした関係のあり方はまさにポストコロニアル的であり、インターネットや通信技術によってたがいに遠く離れていても、仮面を共有することにより、あらたな創造的営為を生み出していることに特徴があります。仮面は再生し、第二の生命活動がはじまっている、と比喩的に話されました。

講演のあとクリフォード教授を囲んでパネル・ディスカッションがおこなわれました。吉田憲司教授(民博、総研大)が司会をつとめ、岸上伸啓教授(民博、総研大)と太田好信教授(九州大学)がそれぞれコメントをおこない、フロアからの質問も交えながら、クリフォード教授と討論をくりひろげました。岸上教授は北アメリカの先住民と民族学博物館との関係はながいあいだ友好的ではなかったことを指摘し、ポストコロニアルの時代にできた博物館、とくに民博の収集と展示、あるいは研修にみられる、新規製作と技術伝承の望ましい関係などについて指摘しました。太田教授はグアテマラのマヤ・カクチケル(民族名)の例なども引き合いに出しながら、文化遺産が過去を想起させながら未来に向けた意味をになう存在であることを確認し、それが予想外に連結することに先住民の現在をみることができると述べました。その後、会場からの質問も含め、資料のあつかいや博物館の今後のありかたに示唆を与えるような質疑応答がなされました。



講堂におけるクリフォード教授の講演



展示場でクリフォード教授夫妻に説明する吉田憲司教授



パネル・ディスカッション

【文責 比較文化学専攻 教授 中牧弘允】

● 宇宙科学専攻『夏の体験入学』研究紹介講義を開催

6月1日から三日間に渡って、宇宙科学専攻では6人の教員による、最先端の宇宙科学研究を紹介する連続講義が行われました。

物理科学研究科の各専攻では、新入生勧誘のために毎年「夏の体験入学」というプログラムを行っています。他の専攻では夏休み期間に滞在・実習形式で行われることが多いようですが、宇宙科学専攻では例年、本年度の進学希望者を主な対象に、研究紹介講義を中心としたプログラムを組んでいます。今年度も、他専攻に先駆けて6月初頭に行いました。

宇宙科学専攻は、日本の宇宙科学を理学・工学の両面で推進している JAXA 宇宙科学研究所が母体となっています。各教員の専門も自ずと幅広い範囲に渡っており、人工衛星やロケットを支える基礎技術から、その衛星で取得したデータによるサイエンスまで様々です。三日間で総てを網羅することは出来ないものの、進学希望者の広い興味をなるべくカバー出来るよう、分野のバランスをなるべく取って、理工3名ずつの計6名の教員に講義をお願いしました。

一日目は、5月に打ち上げられたばかりの金星探査機「あかつき」について、プロジェクトのこれまでの経緯と、今後期待される成果を、今村剛准教授にお話いただきました。最も旬なミッションがどのような道のりをたどってここまで来たのか、宇宙研ならではの研究方法について、理解出来たのではないかと思います。休憩をはさんで森田泰弘教授による固体ロケットの研究と今後の展望について。予定時間を大幅に超過した上でまだまだ話しはつづくという大熱演の講義で、聴講生も研究の幅広さ・深さを感じたのではないかと思います。



二日目は、石村康生准教授による「大型かつ高精度な宇宙構造物を支える技術」と題する講義から始まりました。大きな構造を小さくたたんで打ち上げ、宇宙で安全に展開する技術について、講義室に実物の模型や、ペーパークラフトを持ち込んで実際に聴講生に作らせてみせるなど、技術のおもしろさ、難しさが具体的に伝わったかと思います。続いて、松原英雄教授によるスペース赤外線天文学の入門。天文学観測を宇宙から進める必要性、スペース赤外線観測ならではの最新の成果の紹介がありました。

最終日は、まず川崎繁男教授が、宇宙機には欠かせないマイクロ波・ミリ波での通信技術について、基礎から丁寧に解説して下さいました。マイクロ波送電の実験などについては、聴講生から具体的な質問が飛んでいました。最後の講義は、予定していた講師が出張スケジュールの急な変更で間に合わず、ピンチヒッターとして海老沢研教授が、宇宙研のデータアーカイブ DARTS の紹介とそれを応用した研究についてお話下さいました。宇宙での観測の機会は多くなく、得られたデータをいかに有効に活用できるように提供していくのか。恐らく聴講した学生さんたちはこれまで意識したことがなかったことだろうと思います。実は海老沢教授は総研大の教員ではないのですが、各大学の学生・教員が同居して垣根無く研究を行っている宇宙研ならではのことでお許し下さい。



三日目、川崎教授の講義風景

筆者は世話人にもかかわらず、残念ながらすべての講義を拝聴できなかったのですが、印象に残ったのが進学希望の学生さんが理工の分野を問わず熱心に質問していたことです。何人かに話を聞くと、理工どちらかに進むか決めかねているとのこと。分野の枠に必ずしもとらわれず、自分のやりたいことをどのように見つけていくか積極的な姿勢を強く感じました。このプログラムがきっかけになったのか、その後何度もいろいろな研究室を訪問している姿を見ました。このように熱心な学生さんが進学してくれるのは大変喜ばしいことですし、本プログラムがそのきっかけになったとなれば、うれしいことです。

この研究紹介講義を始めてから今年で3年目になりますが、実はこのような形式にしたのは訳がありました。JAXA 宇宙科学研究所と宇宙教育センターでは、毎年夏に高校生を対象とした滞在型の教育プログラムを行っており、その運営母体となる大学院生が、以前から自主的に教員に講師を依頼して、宇宙科学の基礎教養を学ぶということを行っていました。本プログラムは、その機会を拝借して実現しているのです。そこで、進学生を対象にしつつ在學生も広く出席し、自分の研究分野以外にも広く基礎教養を学べるように配慮をしています。

在學生の参加は、いくつかの点で大変良い効果をもたらしています。まず、講師の依頼にあたっては、彼らに相談することで、聴きたい講義、旬の内容、個人的に面識のない教員についての情報を得、毎年最適と思われる講師によるカリキュラムをつくるのが出来ます。また、本番の講義でも在學生が参加することで質疑がより刺激的に、活発になっています。

何よりも効果が上がっているのが、講義終了後に在學生と進学希望者の交流の機会を設けたことです。これは在學生にお任せしているのですが、事後の参加者のアンケートでも、実際の研究の進め方や、学生として宇宙研で研究することの意義、また学生生活についての具体的な疑問などに答えてもらって、大変有用でしたとの声が多くありました。

今年さらに宣伝の範囲を広げ、研究職ではない職員や、近隣の学校の先生まで、多くの聴講者を得ることが出来、大変有意義だったと考えています。今後も、参加者の声を反映してさらに参加しやすいものにし、進学希望者始め多くの方に有意義なプログラムにしたいと考えています。

本プログラムには、総研大の特定教育研究経費（教育）から援助いただいております。宇宙科学専攻では主に参加者の交通費・旅費として使用させていただいております。この場を借りてお礼申し上げます。

【文責 宇宙科学専攻 准教授 山村一誠】

● サイエンスカフェ『素粒子の対称性とその破れ』を開催

6月26日（土）、湘南国際村センターにおいて、総研大とかながわ国際交流財団との共催でサイエンスカフェを開催しました。今回は葉山町や逗子市といった地域の方々を中心に、高校生から80代以上の方まで幅広い年代の約50名の参加がありました。

講師として、高エネルギー加速器科学研究科の山内正則教授を迎え、「素粒子の対称性とその破れ」と題して、お茶を飲みながらリラックスした雰囲気の中で、2時間の講義を行いました。

「対称性」の話から始まり、「ベータ崩壊のしくみ」や「物質と反物質」、「CP対称性の破れ」、「宇宙にはなぜ反物質が存在しないか」「Bファクトリー実験」などについて、わかりやすく説明していただきました。今回のテーマは小林・益川理論のノーベル賞に関することとあって、強い興味を持って参加した方が多く、積極的に質問がなされていました。

また、終了後のアンケート結果においても、「とても満足」「満足」と回答した方が多く、本学における研究成果を一般の方にわかりやすく伝えるというサイエンスカフェ本来の目的は充分達成されたようでした。



【文責 総務課】

● 日本歴史研究専攻・第9回大学院講演会「資料で酒を味わう」を開催

7月11日（日）に明治大学アカデミーコモンで、文化科学研究科日本歴史研究専攻の第9回大学院講演会を実施しました。これは、総研大の存在をアピールするとともに、日本歴史研究専攻で、実際にどのような研究がおこなわれているのかを紹介する広報活動です。

今年度のテーマは「資料を酒で味わうー生産と消費からー」。専攻の教員である、岩淵令治准教授と青木隆浩准教授の講演を軸に構成しました。近世史学を専門とする岩淵准教授は、「江戸の酒事情ー酒屋の店舗図をよむー」というタイトルで、文献史料・絵画資料をメインに使いながら、遺跡や遺物といった考古学的資料も用いた多彩な手法による講演でした。民俗学を専門とする青木准教授は、「近代の酒造技術ー東京市場をめぐる品質競争ー」と題し、近代の酒造技術書を材料に、フィールド調査で得た豊富な知識を応用して酒造の歴史を話しました。いずれも学際的な研究成果を分かりやすく解説したもので、日本歴史研究専攻の特徴がよく出ていました。アンケートからも、来場者の反応がよかったことが分かります。

今年度は40名の来場者がありました。この企画は大学院の宣伝なのですが、国立歴史民俗博物

館友の会をはじめ、総研大への進学を見据えていない来場者が多いのが例年の傾向でした。しかし、今年度はポスター・チラシを各大学のより専門に近い専攻・教室に送付したためか、学生の来場者が16名と大幅に増加しました。この中から、未来の総研大生が育ってくれることを、大きく期待しています。



岩淵准教授の講演



青木准教授と来場者のやりとり

【文責 日本歴史研究専攻】

📍 統計科学専攻大学院説明会を実施

平成22年7月9日（金）、統計数理研究所オープンハウス開催に伴い、平成22年度第1回統計科学専攻大学院説明会を実施しました。

20名参加のもと、今年度の入試ガイダンス、5年の課程と後期3年の課程のカリキュラムの説明、在学生による研究テーマの紹介、修了後の進路紹介、などを行い、説明会終了後には教員との面談も行いました。

立川移転後、夏の説明会は初の開催となりましたが、多くの方に参加して頂き、活発な質問が交わされました。参加者の内訳は在職者が半数以上と、統計科学専攻の在学生の現状を反映している内容となりました。

また、今回のオープンハウスより、大学院説明会とは別に入学相談コーナーも別途設置し、受験希望者の質問に、よりきめ細かく対応できたかと思えます。

次回は11月に開催予定です。



【文責 統計科学専攻】

【各種募集】 現在公募中の情報

事 項	応募期間	提出先
平成 22 年度(第 16 回)総合研究大学院大学 長倉研究奨励賞	平成 22 年 9 月修了見込み の者: 平成 22 年 9 月 30 日(木)まで 平成 23 年 3 月修了見込み の者: 平成 22 年 12 月 16 日(木)まで	総合研究大学院大学 学務課研究協力係
http://www.soken.ac.jp/student/guide/nagakura.html		
国立天文台滞在型研究員	随時(滞在希望初日の前 月 1 日まで)	国立天文台研究支援係
国立天文台特別共同利用研究員(10 月受入)	平成 22 年 9 月 1 日(水)	国立天文台研究支援係
http://www.nao.ac.jp/Jobs/Job000192.html		
学融合推進センター 研究論文助成	随時	総合研究大学院大学 総務課葉山事務室
http://center.soken.ac.jp/act/thesis.html		

【イベント情報】

●総研大の行事

8月

日程	時間	行事名	場所
2 日(月) -6 日(金)		電波天文観測実習	国立天文台野辺山宇宙電 波観測所
http://www.nro.nao.ac.jp/~nro45mrt/misc/45school.html			
23 日(月) -27 日(金)		核融合科学専攻 夏の体験入学	核融合科学研究所
http://soken.nifs.ac.jp/taiken/index.html			
24 日(火)		JSPSサマープログラム2010報告会	ホテルパシフィック東京
初旬 -31 日(火)		サマースチューデント(夏の体験入学)第 1 期	国立天文台
http://guas-astronomy.jp/ss2010.html			
中旬 -9 月 15 日 (火)		サマースチューデント(夏の体験入学)第 2 期	国立天文台
http://guas-astronomy.jp/ss2010.html			

9月

日程	時間	行事名	場所
25 日(土)	13:00-16:00	日本歴史研究専攻 大学院説明会	国立歴史民俗博物館
http://www.rekihaku.ac.jp/kenkyuu/souken/index.html			
28 日(火)	10:00-17:00	統計科学専攻 学生研究発表会	統計数理研究所 3階 講堂
30 日(木)		学位記授与式	葉山キャンパス

10月

日程	時間	行事名	場所
7 日(木)		入学式	葉山キャンパス

●基盤機関の行事

8月

日程	時間	行事名	場所
6月3日(木) -8月31日(火)		MMP「みんなが織った大きなじゅうたん」	国立民族学博物館 1階エントランスホール(無料ゾーン)
http://www.minpaku.ac.jp/museum/partners/event.html#juutan			
6月20日(日) -8月31日(火)		夏のみんぱくフォーラム 2010 音の力	国立民族学博物館
http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/otonochikara10_sum.html			
7月13日(水) -9月12日(日)		企画展示: アジアの境界を越えて	国立歴史民俗博物館
http://www.rekihaku.ac.jp/exhibitions/project/index.html			
7月22日(木) -9月14日(火)		企画展「伝統の布の”いま”—東南アジアのふだん着にみる実情—」	国立民族学博物館 企画展示場 B
http://www.minpaku.ac.jp/museum/exhibition/dentounonuno/			
7月22日(木) -9月28日(火)		企画展「歴史と文化を救う 阪神淡路大震災からはじまった被災文化財の支援」	国立民族学博物館 企画展示場 A
1日(日)	13:30-16:00 開場: 13:00	夏のみんぱくフォーラム 2010 音の力関連研究公演「インド 歓喜の調べ—ラージャスターンの民俗音楽」	国立民族学博物館 講堂
http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/performance100801.html			
1日(日) -31日(火)		夏のみんぱくフォーラム 2010 音の力関連展示場クイズ「みんぱQ 音楽編」	国立民族学博物館 音楽展示場
http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/otonochikara10_sum.html			
8月3日(火) -8月29日(日)		くらしの植物苑特別企画 「伝統の朝顔」	国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑
http://www.rekihaku.ac.jp/events/schedule/index.html#c			
8月3日(火) 8月24日(火) 9月7日(火)	14:30-15:30	企画展ギャラリートーク	国立民族学博物館 企画展「伝統の布の”いま”—東南アジアのふだん着にみる実情—」会場(企画展示場 B)
http://www.minpaku.ac.jp/museum/exhibition/dentounonuno/			
5日(木)	18:30-19:45	平成 22 年度 国立情報学研究所 市民講座 第 3 回「プログラミングの科学 —積み木のようにソフトウェアを作るには?—」	学術総合センター 2階中会議場
http://www.nii.ac.jp/shimin/			
5日(木)	10:20-17:00 受付: 10:00 ~	博学連携教員研修ワークショップ 2010 in みんぱく「学校と博物館でつくる国際理解教育—新しい民博展示を活用する—」	国立民族学博物館 2階セミナー室・展示場
http://www.minpaku.ac.jp/research/pr/100805.html			

7日(土)	14:30-16:30	歴博映画の会	国立歴史民俗博物館
	http://www.rekihaku.ac.jp/events/movie/index.html		
9日(月) -12日(木)	10:00-16:00	公開講座 「多変量解析法」	統計数理研究所 大会議室
	http://www.ism.ac.jp/lectures/22d.html		
9日(月) -12日(木)		君が天文学者になる4日間 in 広島	広島大学宇宙科学センター 附属東広島天文台大会議室 主催:国立天文台 他
	http://www.nao.ac.jp/kimiten/index.html		
13日(金)	13:30-15:00	夏のみんぱくフォーラム 2010 音の力関連研究講演「インドネシア・バタックのギターと歌」	国立民族学博物館 1階エントランスホール(無料ゾーン)
	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/performance100813.html		
14日(土)	14:00-16:00	第320回歴博講演会 「3~5世紀東アジアの国際交渉」	国立歴史民俗博物館
	http://www.rekihaku.ac.jp/events/lecture/index.html		
14日(土)	11:00-12:00	歴博探検「れきはくの朝顔」	国立歴史民俗博物館
	http://www.rekihaku.ac.jp/kids/explore.html		
14日(土)	13:30-16:00 開場:13:00	夏のみんぱくフォーラム 2010 音の力関連研究講演「スロライと太平簫—カンボジアと韓国のチャルメラ音楽」	国立民族学博物館 講堂
	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/performance100814.html		
14日(土)	12:00-15:30	MMP「点字教室」	国立民族学博物館 1階エントランスホール(無料ゾーン)
	http://www.minpaku.ac.jp/museum/partners/event.html#tenji		
15日(日)	14:30-15:30	企画展「歴史と文化を救う 阪神淡路大震災からはじまった被災文化財の支援」関連のみんぱくウィークエンド・サロン「被災文化財を救う」	国立民族学博物館 企画展示場 A
	http://www.minpaku.ac.jp/museum/exhibition/rekishitobunka/		
21日(土)	13:30-15:00 開場:13:00	新音楽展示関連第387回みんぱくゼミナール 「主張する太鼓」	国立民族学博物館 講堂
	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/seminar10.html		
21日(土)		特別公開	国立天文台宇宙電波観測所・太陽電波観測所
	http://www.nao.ac.jp/event.html		

21日(土)	11:00-16:00	MMP 夏休みものづくりワークショップ 「帆つきアウトリガーカヌーを作って帆走させよう！」	国立民族学博物館 2階第5セミナー室・第7セミナー室・玄関前水槽(帆走体験)
	http://www.minpaku.ac.jp/museum/partners/event.html#canoe		
22日(日)	第1回: 11:00-12:00(受付:10:15-11:00) 第2回: 13:00-14:00(受付:12:15-13:00) 第3回: 15:30-16:30(受付:14:45-15:30)	夏休み子どもワークショップ ロウと藍染めでモヨウをつくろう	国立民族学博物館 2階第3セミナー室
	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/ws_aizome100822.html		
25日(水) -26日(木)	9:30-16:00	公開講座 「極値統計学」	統計数理研究所 セミナー室5
	http://www.ism.ac.jp/lectures/22e.html		
27日(金) -28日(土)	27日:10:00(受付)-17:45 28日: 10:30-17:00	日本万国博覧会開催40周年記念事業「カルチャーウェアとディアスポラ・ミュージアム」第2回国際会議 国際研究フォーラム ディアスポラにみる文化の融合—民族衣装・ファッション・カルチャーウェア	国立民族学博物館 2階第4セミナー室
	29日(日)	13:30-15:00	日本万国博覧会開催40周年記念事業「カルチャーウェアとディアスポラ・ミュージアム」第2回国際会議 解説付きショー 文化と心を身にまとう
27日(金)・30日(月)・31日(火)	14:00-17:00(受付:13:30-16:30 随時)	2010年度みんなく秋の遠足・校外学習 事前見学&ガイダンス	国立民族学博物館 2階第5セミナー室
	http://www.minpaku.ac.jp/museum/information/guidance10a.html		
28日(土)	10:00-12:00	第137回くらしの植物苑観察会 「芸をする朝顔」	国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑
	http://www.rekihaku.ac.jp/events/schedule/index.html#c		
28日(土)		特別公開	国立天文台岡山天体物理観測所
	http://www.oao.nao.ac.jp/public/event/		
28日(土)	座談会: 13:30-14:00(開場:13:00) 太鼓演奏: 14:15-16:00	夏のみんぱくフォーラム 2010 音の力関連研究講演「揺さぶるカー大阪浪速の太鼓打ち」	国立民族学博物館 講堂
	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/performance100828.html		
30日(月) -31日(火)	10:00-16:00	公開講座 「多様性の統計数理」 —生物群集の多様性の話題から—	統計数理研究所 大会議室
	http://www.ism.ac.jp/lectures/22f.html		

9月

日程	時間	行事名	場所
4日(土)	11:00-17:30	歴博映像フォーラム 5 「平成の酒造り」	新宿明治安田生命ホール 主催:国立歴史民俗博物館
		http://www.rekihaku.ac.jp/events/schedule/index.html	
5日(日)		高エネルギー加速器研究機構 一般公開	KEK
		http://www.kek.jp/openhouse/	
8日(水)	18:30-19:45	平成22年度 国立情報学研究所 市民講座 第4回「三次元でモノを見る —3Dディスプレイを支える映像技術とは?—」	学術総合センター 2階中会議場
		http://www.nii.ac.jp/shimin/	
11日(土)	14:00-16:00	第321回歴博講演会 「島のくらしは旅ぐらし」	国立歴史民俗博物館
		http://www.rekihaku.ac.jp/events/lecture/index.html	
11日(土)	13:00-16:30	企画展「歴史と文化を救う 阪神淡路大震災からはじまった被災文化財の支援」関連文化財保存修復学会・シンポジウム「文化財をまもる」	国立民族学博物館 講堂
11日(土)	13:00-16:40	公開シンポジウム 文化財をまもる—みんぞく資料をまもる—	国立民族学博物館 講堂
		http://www.kuba.co.jp/bunkazai-minpaku/index.html	
9月16日(木) -12月7日(火)		特別展「彫刻家 エル・アナツイのアフリカ—アートと文化をめぐる旅」	国立民族学博物館 特別展示場
18日(土)	13:30-15:00 開場:13:00	特別展関連第388回みんなくゼミナール 「博物館と美術館の間—美術から見える現代アフリカの居場所」	国立民族学博物館 講堂
		http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/seminar10.html	
25日(土)	13:30-15:30	第138回くらしの植物苑観察会 「江戸時代のバラ」	国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑
		http://www.rekihaku.ac.jp/events/schedule/index.html#c	
25日(土)	13:30-16:30 開場:13:00	現代ドイツ民俗学の奇オアルブレヒト・レーマン氏連続講演会「神秘化された森と環境保護運動 ドイツの事例より」	国立民族学博物館 2階第5セミナー室
		http://www.soc.nii.ac.jp/fsj/research/international_exchange_symposium2010.html	

10月

日程	時間	行事名	場所
9日(土)	14:00-16:00	第322回歴博講演会「博物館資料を記す・探す」	国立歴史民俗博物館

23日(土)	13:30-15:30	第139回くらしの植物苑観察会「佐倉城址の秋の植物」	国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑
	http://www.rekihaku.ac.jp/events/schedule/index.html#c		
10月26日(火) -11月7日(日)		重要文化財 洛中洛外図屏風甲本公開	国立歴史民俗博物館 第2展示室
10月26日(火) -12月5日(日)		旗本本多家資料の世界	国立歴史民俗博物館 第3展示室
	http://www.rekihaku.ac.jp/exhibitions/project/special_03_2010.html		
10月26日(火) -12月26日(日)		武士とはなにか	国立歴史民俗博物館 企画展示室
30日(土)	10:30-17:00	第76回歴博フォーラム「声・音・身体の文化をめぐる地域性と国際性	早稲田大学小野記念講堂 主催:国立歴史民俗博物館

【教員の受賞情報等】

文化科学研究科

比較文化学専攻

○ 園田直子 教授

文化財保存修復学会第4回業績賞 受賞

生命科学研究科

遺伝学専攻

○ 小久保博樹 助教

小児循環器学会 Chairperson Award 受賞

【編集後記】

総研大ニューズレター第 27 号をお届けします。

梅雨明けの後、全国的に猛暑が続いています。連日熱中症の報道がなされ、寝苦しい夜が続いていますが、暑い夏を乗り切るためには水分を充分摂って、ゆっくり休養するのが一番のようです。

さて、7月はじめに本学の梅棹忠夫名誉教授がご逝去されました。梅棹先生は本学の基盤機関の一つである国立民族学博物館の創設に尽力され、初代の館長として民博の基礎を築かれました。また、独創的な文明学を展開し、「知の巨人」として国内外に大きな影響を与えた方でした。謹んでご冥福をお祈りいたします。

◎各専攻で教員や学生がメディアに出演が決まっている場合や、発表や表彰等があった際にはご連絡ください。またメディア等に出演される場合は、可能な限り「総合研究大学院大学」と表記していただけますようご協力お願いします。

発行 2010年8月6日

編集



国立大学法人

総合研究大学院大学

THE GRADUATE UNIVERSITY FOR ADVANCED STUDIES

広報委員会

神奈川県三浦郡葉山町（湘南国際村）

総務課広報係（担当）

TEL 046-858-1590/FAX 046-858-1542

E-mail: kouhou@ml.soken.ac.jp

©2010 SOKENDAI